

今回は、小林市と椎葉村で開催した「いきいき集落」研修交流会の様子や、「ひなたまちづくり応援シート」をきっかけに地域の将来について考える取組について紹介します。

## 「いきいき集落」研修交流会を開催しました！

小林市開催



令和5年2月11日（土）@KITTO小林2階交流スペース

### テーマ『地域づくりを一步先へ進めるための心・人・お金の話』

午前中のパネルディスカッションでは、パネリストの皆さまの実体験のお話から、「地域活動の進め方」のヒントを学ぶことができました。

#### 【パネリスト】

- 小林市 坂元親子会館  
館長 中島 信行 さま
- 高原町 鹿児山地区  
区長 小久保 幸一 さま
- 吉都線に観光列車を呼ぼう！小林実行委員会 会長 吉村 秀昭 さま

#### 地域づくりの進め方のヒント

- ☆「できることからやってみる」という気持ちで、小さな活動でも、まずは取り組んでみる！
- ☆地域にはいろんな才能を持った人がいるので、自分1人で抱え込まずに周りを頼る！
- ☆2・3年後の少し先の未来を想像して、地域活動に取り組む！

午後は、参加者同士の意見交換会を行いました。「地域を引っ張る人材がない」、「地域の活動に多くの人に参加してもらうにはどうすればよいか」など、地域が抱える問題や課題を共有し、参加者同士でアドバイスし合うなど、1時間という短い時間でしたが、充実した意見交換会となりました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました！



# 椎葉村開催



令和5年3月5日（日）@椎葉村交流拠点施設Katerie

## テーマ『地元・移住者・行政それぞれの立場から考える、移住が増える地域の特徴とは？』



シェアハウスでえらの家  
管理人 村上 健太さま

椎葉村地域振興課  
課長 椎葉 豊さま

椎葉村小崎地区  
区長 中瀬 裕さま

### ※「空き家の確保」の取組のご紹介

#### 《地域の課題》

「移住者が住む家がない」、「空き家を活用したいが、持ち主が県外にいて交渉しづらい」

#### 《椎葉村小崎地区の取組例》

空き家の持ち主が村外にいる場合、『公民館⇒村内にいる親族に相談⇒持ち主』といったルートで、空き家の活用意向について確認を取り、空き家を確保している。

椎葉村では、「地元・移住者・行政それぞれの立場から考える、移住が増える地域の特徴とは？」をテーマに交流会を開催しました。

まず、椎葉村の地元・移住者・行政を代表して、3名の方（左写真）に移住推進の取組についてお話をいただきました。

その後、参加者同士の意見交換会を行い、「移住者を増やすには？」、「移住者を地域でどのように支援していくか？」について話し合いました。

移住者を増やすためには、移住者が住む家を確保する（※）、お試し移住といった気軽に地域の暮らしを体験できる機会をつくるといった意見が出ました。

また、移住者が抱える悩みや不安などを地域でしっかり聞く機会を定期的につくるといった地域側の取り組みも重要との意見も出ました。

当初の終了時間よりも30分長くなるなど、大変盛り上がった交流会となりました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました！



### いきいき集落研修交流会の参加者の声

○なかなか地域の方とお話する機会がなく、また、ほかの地域の人のお話をうかがえることもなかなかないので、とてもいい話をきけてよかった。

○どこの地域も、未来のために何とかしたいと、もがいているという事がわかって良かった。

# 「地域の将来についての話し合い」を始めませんか？ ～ひなたまちづくり応援シートの活用～

ひなた  
まちづくり  
応援シート  
とは？

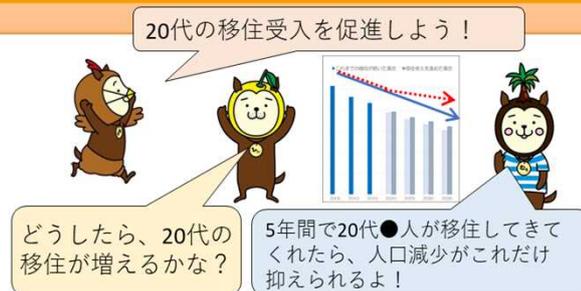
## ①基本分析・将来推計機能

地域人口の構造、将来人口推計などを  
“見える化”する機能



## ②移住受入シュミレーション機能

地域に移住者を受け入れた場合の地域の将来  
人口推計の変化を“見える化”する機能



## ③地域分析機能

地域の課題解決や活性化のヒントとなる地域の「強み」や「特徴」を“見える化”する機能



ひなた  
まちづくり  
応援シートの  
使い方

ダウンロード！



### ①「ひなたまちづくり応援シート」を入手

インターネットで「応援シート」や手引きをダウンロードして入手しましょう



### ②「応援シート」を使って、地域で話し合い（ワークショップ）

年齢性別問わず地域住民みんなで集まって、地域の将来の姿や課題等を認識・共有しましょう

### ③ワークショップで出た意見を元に、地域の将来を守る行動計画を策定



## 話し合い（ワークショップ）の様子（令和元年度～令和3年度）

10年後の人口...  
こんなに減るの...？

今やるべきことは？  
自分たちでできることは？  
行政の力が必要なことは？

地元で将来も  
守りたいものは  
何だろう。

目標ができた。  
まずは〇〇から  
始めよう！



話し合いをしてみたい！という地域がございましたら、まずはお住まいの市町村へご相談ください。

# 「住み慣れた地域に安心して暮らし続けるために」話し合いを行いました！

3ページでご紹介した「ひなたまちづくり応援シート」を活用して、「この地域で暮らし続けたい」を叶えるため、地域の課題や取組事項について話し合いを行った2地区の様子を紹介します。



小林市三松地区では、「チームみまつ協働体」が中心となってワークショップを開催しました。住民全体で協力して考えていく必要があること(課題)を意見として挙げ、その課題に対する取組のアイデアを整理しました。今後は、取組アイデアを実行していくための体制として、チームみまつ協働体の既存部会を中心に検討を進めていくことになりました。



門川町三ヶ瀬地区では、特に優先する3つの取組アイデア「日常生活、高齢者に関すること」、「地域活動に関すること」、「地域産業に関すること」に取り組むことになりました。今後は、まずは地域を元気にする取組から開始し、実行していくための組織として、WS参加者だけでなく、新旧役員等が参加する新たな組織「(仮称)三ヶ瀬未来会」を立ち上げるのが良いのではとの意見がでました。



## 開催地区募集中

未来のために私たちは何ができるのだろうか。

田舎で不便で課題もたくさんあるけれど、みんなが楽しく暮らせる地域でありつづけたい！

まちづくりのアイデアから将来への不安など、一緒に語り合いましょう！

ひなた集楽だよりは、住民みんなが**集**まって**楽**しみながら行っている活動を、読者が住む集落や地域で活動をする「たより」(きっかけ、てがかり)にしてほしいという願いを込めています。

【発行・お問い合わせ】

宮崎県総合政策部

中山間・地域政策課

電話 0985-26-7036

FAX 0985-26-7353

